

2012
5月号
No.337



広報

きょう

木城町マスコットキャラクター
「キックン」



NEWS INDEX

- 特集:災害に強いまちづくりのために
- 平成24年度 施政方針・平成24年度 当初予算
- 役場機構図
- 石河内小学校閉校記念式典・卒業式
- まちの話題
- 人間萬歳・消防団部長任命式
- いぶき No. 85
- 文化財よもやま話 60
- えほんの郷だより・町の人口

情報提供・お問い合わせ先 <Eメール> soumu@town.kijo.jp
ホームページアドレス <URL> <http://www.kijo.jp/>

特集

災害に強いまちづくりのために

自守防災をきえる

東日本大震災から1年余りが過ぎ、全国的に防災への意識が高まっています。本町も防災対策を順次講じているところです。災害は、いつ、どこで起きるか分かりません。

甚大な災害発生時には、行政の対応にも限界があることから、自分の身は自分で守る準備が常に必要です。ここでは、『自守防災』についての参考として、いくつかご紹介します。

まずは身近な避難場所を確認しておきましょう。

避難場所は、災害の内容や被害状況によって異なります。町が作成しているハザードマップは、河川のはん濫・浸水を想定した避難場所とその経路などについて作成されています。家族で確認しておきましょう。

浸水時の指定避難所		
	避難場所	海拔(m)
1	木城町役場	17
2	木城中学校	15
3	木城小学校	16
4	出店コミュニティセンター	16
5	高城児童館	18
6	旧石河内小学校体育館	115
7	石河内総合福祉センター	95
8	川原多目的集会施設	36
状況により開設する避難所		
9	下鶴公民館	12
10	新岩戸公民館	80
11	中原公民館	100
12	中椎木公民館	16
13	岩淵公民館	17
14	比木公民館	20
15	石河内公民館	87

※海拔はおおむねの数値です。



平成23年度に防災倉庫を大字椎木と高城に1箇所ずつ設置しました。



今後も、防災倉庫内の備蓄品の種類、数量を増やしていく予定です。

必需品・貴重品類

品名
現金
車や家の予備カギ
予備メガネ・コンタクト
携帯電話
預金通帳
健康保険証
運転免許証
印鑑
証書類

注…あくまで、被災時最初の1日間をしのぐための物品です。

主な基本品目

品名	数量
非常持出袋	1個
缶入りカンパン	2個
ペットボトル入り飲料水(500ml)	6本
懐中電灯	2個
ローソク	2本
ライター	2個
携帯ラジオ	1台
万能はさみ	1組
軍手・手袋	2対
ロープ 7m~	1本
常備薬・持病薬など	適量
レジャーシート 2畳	1枚
防寒シート	2枚
タオル	4枚
ポリ袋	10枚
ウェットティッシュ	2個
筆記用具	1組

非常持ち出し品の準備はお済みですか！

ご存知ですか

緊急速報『エリアメール』

木城町では3月から、NTTドコモ・au・ソフトバンクのサービスを利用して、災害関連情報などの緊急情報の配信を開始しました。

エリアメールとは、土砂災害警戒情報、避難勧告、津波情報などの緊急性の高い災害関係情報を木城町内のエリアで使用されているNTTドコモ・au・ソフトバンクの携帯電話（対応機種に限る）に一斉送信するサービスです。

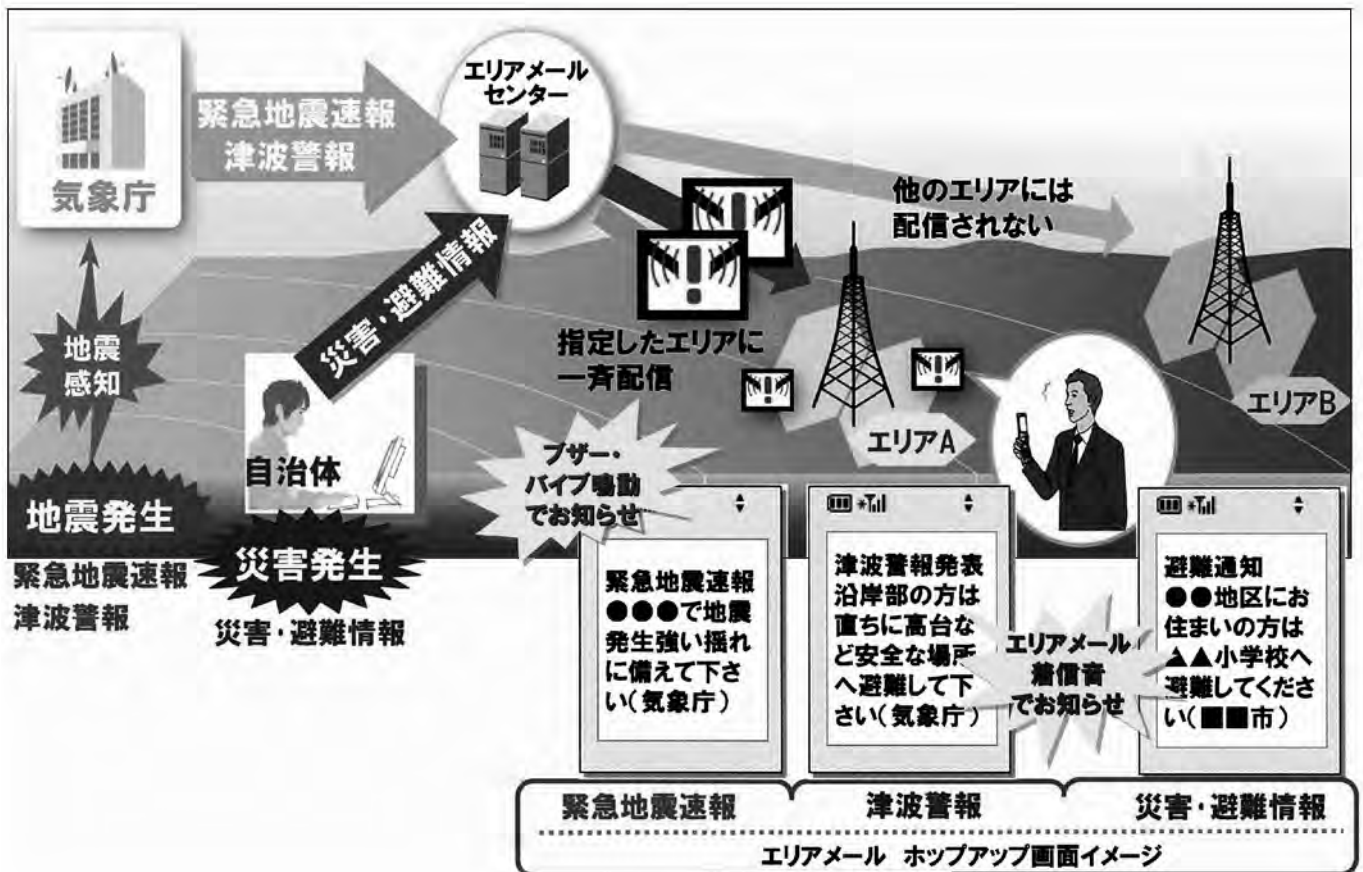
エリアメールについて

○エリアメールが配信されると、携帯電話の画面配信内容が自動的に表示されます。

※圏外や通話中、電源が入っていないなどの場合は受信できません。

○エリアメールは事前の登録は必要ありません。また、無料で受信でき、通信料や情報料は発生しません。

○エリアメールは、メールアドレスを用いずに配信エリア内の対応携帯電話に配信する仕組みのため、観光や仕事で木城町を訪れた方でも受信できます。



《お知らせ》

第1回『町民防災講座(仮称)』開催予定

とき：6月24日(日) 午前中

※詳しくは、後日。広報誌やコスモス通信でお知らせします。

平成24年度施政方針

平成24年第1回木城町議会定例会が開催され、平成24年度木城町一般会計予算など、町長が示した平成24年度の町政運営に関する基本方針について紹介します。

今日、世界経済は、ヨーロッパ諸国における経済危機などにより、深刻な状況にあり、加えて新興国における過熱感や、諸事情による資源の高騰など構造的な要因を抱えており、その回復

には相当の期間を要するものと考えられます。

一方わが国の経済は、円高、デフレ、東日本大震災、タイ国における洪水被害などの影響により、自動車産業をはじめ家電業界など厳しい状況にあります。こうした中、昨年後半より、諸産業における投資の拡大や東日本大震災の本格的復興などにより、着実な需要と雇用創出が見込まれ、今年は国内需要の成長により景気が緩やかに回復す

るものと思われます。

こうした中、平成24年度の地方財政は、地方税収入や国税収入が緩やかに回復することが見込まれますが、一方社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移しており、依然厳しい状況にあります。

本町においては、小丸川発電所完成に伴う固定資産税により、町税の大幅な増となっているところですが、しかし、より一層徹底した歳入確保や、歳出全般にわたる見直しを行い、住民ニーズに適切に対応した行政サービスが展開できるよう措置しました。

特に、町民本位の福祉向上と地域の発展や、口蹄疫からの再生・復興、商

工観光・農林業活性化のための予算編成を行ったところであります。

本町はこれまで財政の健全化や住民の福利向上を目指して行財政改革に取り組んでまいりましたが、将来世代に迷惑をかけない為に、引き続き事務事業の改善や行政経費の削減などに積極的に取り組んでいく必要があります。

これら行財政改革を進めていくには、住民の皆様の理解と協力が不可欠と考えます。行政主導型でなく住民の皆様も積極的に参加していただき、安全で安心な生活が実感できる、「小さくても誇れる、キラリと輝くまちづくり」のために町政に対する提言などを行っていただきたいと思います。

平成24年度

一般会計予算

平成24年度の一般会計予算39億4千万円が、議会で可決されました。皆さんの納めていただく税金や国・県からの補助金などがさまざまな形で使われています。毎年広報誌では、この予算が私たちの生活の中でどのように使われるのかお知らせしています。

一般会計

前年比13・9%増

小丸川発電所完成に伴う固定資産税により、町税の大幅な増となったところですが、社会保障関係費の増や公債費など財政を圧迫する要因もあることから、より一層の歳入歳出の見直しを行い町民の福祉向上と地域の発展のため財源配分を行いました。

歳入

性質別の割合では、町税や使用料及び手数料などの自主財源が、33億3千

歳出

269万円余りとなり予算総額の84・6%を占め、国・県支出金などの依存財源が6億730万円余りで同15・4%となっています。

性質別の割合は、人件費や公債費などの義務的経費が、40・4%、物件費などの一般行政経費が、40・0%、建設事業費などの投資的経費が19・6%となっています。

目的別では、民生費が最も大きく、次いで総務費、商工費、公債費の順となっています。

平成24年度普通建設事業費の主なもの

木城温泉館「湯らら」改修工事	380,000千円
町道改良舗装工事	41,100千円
旧中之又小学校校舎改修工事	22,500千円
木城小学校給水改修工事	12,230千円

町民一人当りに使われるお金

(平成24年4月1日現在 人口5,144人)

民生費	194,313円
総務費	125,282円
商工費	106,815円
公債費	78,241円
衛生費	78,163円
農林水産業費	56,945円
教育費	53,580円
消防費	28,456円
土木費	26,055円
議会費	15,230円
災害復旧費外	2,863円

一般会計
765,941円

一般会計・特別会計予算一覧表

(単位：千円)

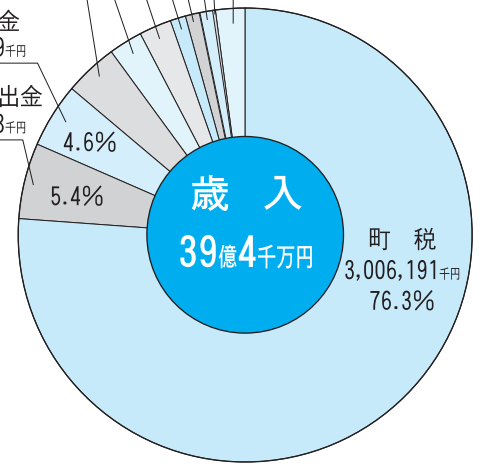
区分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
一般会計	3,940,000	3,458,000	3,734,000
特別会計	国民健康保険	826,000	817,000
	老人保険	—	—
	介護保険(保健事業)	574,000	509,000
	介護保険(サービス事業)	7,000	6,000
	後期高齢者医療	61,000	61,000
	簡易水道	394,000	116,000
	下水道	182,000	263,000
総額	5,984,000	5,230,000	5,539,400

一般会計歳入性質別

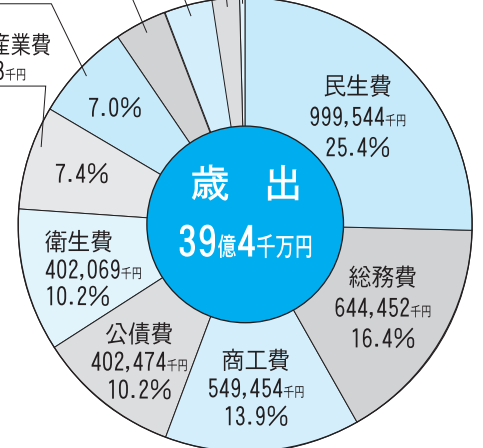
(単位：千円)

区分	平成24年度	構成比	平成23年度	構成比	伸び率
自主財源	3,332,697	84.6%	2,706,609	78.3%	23.1%
依存財源	607,303	15.4%	751,391	21.7%	-19.2%
合計	3,940,000	100%	3,458,000	100%	13.9%

地方譲与税	43,800千円	1.1%
地方交付税	90,000千円	2.3%
使用料・手数料	93,219千円	2.4%
繰入金	150,285千円	3.8%
県支出金	179,509千円	4.6%
国庫支出金	212,818千円	5.4%
地方消費税交付金	41,400千円	1.0%
分担金及び負担金	35,155千円	0.9%
繰越金	3,644千円	0.1%
諸収入外	83,979千円	2.1%



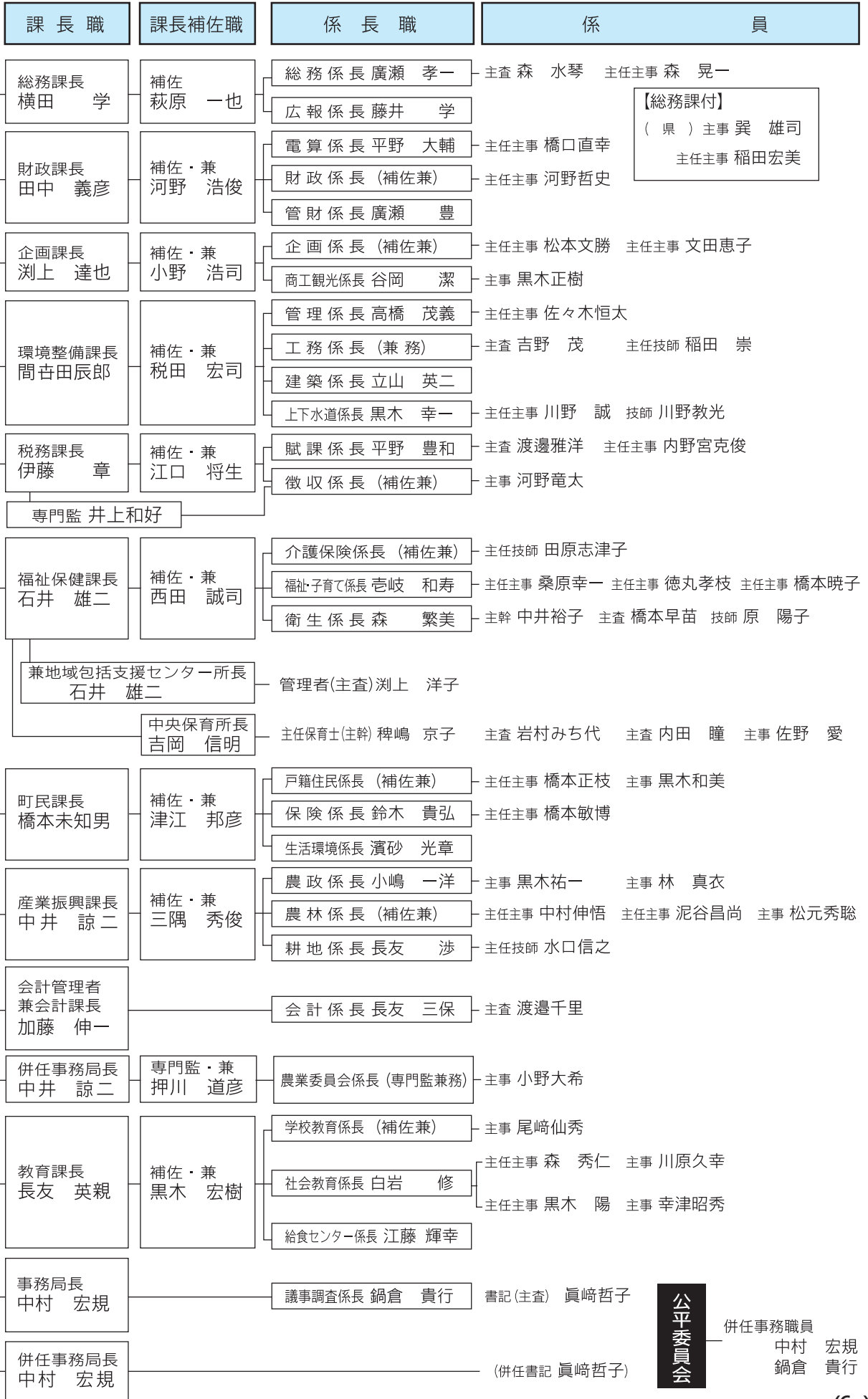
土木費	134,025千円	3.4%
消防費	146,376千円	3.7%
教育費	275,613千円	7.0%
農林水産業費	292,923千円	7.4%
議会費	78,343千円	2.0%
災害復旧費外	14,727千円	0.4%



木城町役場機構・職員配置図

平成24年4月1日現在

特別職	3名
一般職	88名
定数	98名



町長 田口 晃史

副町長 半渡 英俊

農委

教育委員会

議会

監査

教育長 小野 順章

公平委員会

併任事務職員
中村 宏規
鍋倉 貴行

たくさんの思い出をありがとう

石河内小学校閉校記念式典



◆明治20年4月に高城小学校から簡易科として独立し、以来125年の長い間多くの子どもたちを見守り、育ててくれた石河内小学校。平成24年3月4日（日）は、別れを惜しむ涙のような静かな雨の日でしたが、朝からグラウンドの大型テントの中では、歴代の卒業生、山村留学生とその

家族、先生方、その他関係者の方々約450名が参加し、閉校記念式典が盛大に行なわれました。会場では同級生たちが記念写真を撮ったり、先生と卒業生の会話、笑い声などが聞かれ、再会を懐かしむ光景が印象的でした。式典が終わる頃には、すっかり雨も上がり青空が顔をのぞかせていました。

入りの口には、
「我が古里 いしかわうち」と刻まれた記念碑が立てられました。



校旗返納：二見昌俊校長から原朋輝教育委員長に校旗が返納されました。



誇りを胸に最後の卒業式

◆平成24年3月26日（月）石河内小学校講堂で、最後の卒業式が執り行われ



◆平成6年卒業の金丸修司さん（西都市在住）は、「人数が少なかったから1年から6年生まで全員でサッカーをしていました。あの頃が懐かしい。」



と昔の思い出を語ってくれました。また、急遽、タイムカプセルを開けることになった卒業生たちもいたそうです。



ました。卒業生の中武歩夢くんは、「さみしい思いもしたけど、楽しかった思い出の方がたくさんあった。中学校に行ってもたくさん思い出をつくりま

す。石河内小学校を卒業したことに誇りを持って頑張ります。」と堂々と力強くあいさつしました。



スポーツ少年団 入団式開催

【4月7日(土)】

今年は町体育館に8つの少年団が参加し、交流ゲーム(ドッチビー)で親睦を深めました。

(4月13日現在)

番号	所 属 団	団員数(名)
1	剣 道	2
2	ジュニアソフトテニス	13
3	野 球	21
4	柔 道	2
5	スポーツクラブ	29
6	少女バレー	8
7	サッカー	30
8	松濤館空手	5
計		110



団長に川越匠人くん、副団長に壱岐知香さんを任命



子どもに大人気！ 「ちびっこそーめんスライダー」

【4月8日(日)】

城山公園の階段で長さ90mのそうめん流しが行われました。城山花まつりの中のイベントとして商工会青年部が実施したもので、40分余りで用意したそうめんは全てなくなりました。子どもも大人もニコニコ顔で少し早い夏の風物詩に舌鼓を打っていました。

懐かしいバイクが勢ぞろい 「昭和のバイク展」

【4月8日(日)】

今年で3回目を迎えた「昭和のバイク展」が木城温泉館「湯らら」駐車場で開催されました。1955年 トヨタモーターE8型や1964年 カワサキ250メグロSGなど、延べ約80台の珍しい昭和のバイクが参加し、多くのバイク愛好家で賑わいました。



NinGenBanZai 人間萬歳

このコーナーは、毎回、町内在住・勤務されている
いろんな方々に登場していただきます。
さて、今回登場するのは、この人！



よこ た とも のり

横田 朋 宜 さん（34歳） 町下

☆お 仕 事：建築業 ☆趣 味：野球・バレーボール

☆家族構成：妻・子供3人・父母の7人家族

●自己紹介

社会人野球とバレーボールが大好きで、今年の4月からバレーボール少年団のコーチをすることになりました。監督が1名、コーチ3名でやります。コーチの1名は、若干髪の毛が薄い人がいますが、頑張りたいと思います。新入団員募集中です！！

（木城町の大切な子どもたちのために頑張ってください！）

●一言物申～す！

スポーツ少年団全体をとおして、団員が少ないので、もっと皆さんで少年団を盛り上げていきましょう。

（保護者並びに地域の皆さん、これからご理解とご協力をよろしくお願いします！）

●その他・・・コメント

今年4月から「総合型地域スポーツクラブ」を立ち上げました。イベントを企画していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

（少子化とスポーツ離れが進む中、「総合型スポーツクラブ」は重要な役割を担っていくと思いますよ。）

平成24年度 木城町消防団

（敬称略）

【幹 部】

階 級	氏 名	管 轄 地 区
団 長	矢 野 哲 也	
副 団 長	吉 良 清 志	
第1分団長	高 橋 茂 義	第1部～第6部
第2分団長	重 永 建 二	本部、第7部～第11部

【部 長】

階 級	氏 名	管 轄 地 区
本部 部長	水 口 信 之	町内全域
1部 部長	梶 原 純 一	田畑、一向瀬、重木
2部 部長	長 友 正 樹	四日市、出店、池田、中川原
3部 部長	半 渡 智 康	中椎木
4部 部長	長 友 暢 輝	岩渕上・下
5部 部長	眞 鍋 博	比木
6部 部長	江 藤 光 訓	陣之内、牧之内、中原、溜水、百合野
7部 部長	小 嶋 一 洋	大字高城（中川原、田神、岩戸除く）
8部 部長	富 永 拓 也	田神、岩戸、新岩戸
9部 部長	長 友 寿 満	大字川原全域
10部 部長	那 須 克 也	大字石河内全域
11部 部長	海 野 博	大字中之又全域
ラッパ隊長	黒 木 正 樹	兼務



【新部長任命式（4月2日）】



【矢野哲也消防団長】

◆ 団長コメント ◆

震災後、団活動の課題などが明確化された部分がある。

地域と合同の防災訓練の実施、消防団活動の基本訓練を強化していきます。

木城町福寿大学閉級式の開催について

春の足音が聞こえてきた3月14日(水)と21日(水)に木城町福寿大学石河内学級、中央学級の閉級式を開催いたしました。今年度は学級生総数148名の内、15名が皆勤表彰を受賞されました。また、十数年連続で受賞された方や残念ながらお休みをしまい受賞を逃してしまった方も、4月から皆勤表彰受賞を目指して頑張るという意気込みが伝わってきました。

閉級式終了後には、じょんやま日本の歌愛好会(代表黒木逸郎氏)による歌などのアトラクションを行いました。学級生の皆さんも「良かった」「楽しかった」と好評で一日を締めくくりました。



福寿大学石河内学級の様子

生涯学習人材バンク
「かがやき人」の登録について

生涯学習推進協議会では町内在住・勤務者の得意分野、資格、経験を活かし、本町の生涯学習の充実を図る為に生涯学習人材バンク「かがやき人」の募集を行いました。

募集の結果、10名の方が登録することになり、その内容はレクダンス、フラダンス、写真、詩吟、語り部、歴史などバラエティに富んだジャンルとなりました。これらの活用については、学校教育や公民館の出前講座など様々な場所による学習機会のお手伝いを考えています。

なお、当協議会では、今後も「かがやき人」の登録者を募集いたします。趣味でも仕事でも得意な分野・資格で本町の生涯学習の盛り上げに協力をお願いいたします。

かがやき人の指導状況
(指導者は金子信吾さん)

教育委員会だより

1月4日(水)と2月1日(水)に教育委員会定例会が開催されました。

- ① 教育委員会事務局報告
- ② 教育委員月例活動報告について
- ③ 教育長報告について

などが報告・提案され承認となりました。

町地域婦人連絡協議会総会の開催について

3月25日(日)に、総合交流センターリバリスにて、町地域婦人連絡協議会総会が開催されました。

当日は、45名の会員が出席され、平成23年度の事業実績、収支決算の報告、規約の改正、平成24年度事業計画、収支予算について、熱心に意見交換がされました。

質疑の中で婦人会に対する地域における存在意義についての意見があり、改めて本町における女性団体の果たす役割を考えることが出来ました。

なお、会長には村橋哲子さん(岩渕)が再選し、挨拶の中で「皆さんに支えられながら楽しく活動していきたい。」とのことでした。

これからの木城町を考える上で女性団体の役割はますます重要になってくると思います。本会では一緒に活動できる新しい会員を募集しています。



村橋哲子会長の挨拶

5・6月に実施される
生涯学習関連事業(予定)

● 全町民対象事業

- 5月13日(日) 公民館対抗スポーツ大会:軟式野球の部(町総合運動場外)
- 6月 9日(土) みやざき県民総合スポーツ祭(宮崎市外)～10日

● 青少年教育対象事業・学校行事

- 5月 5日(土) 総合交流センター子どもイベント
- 5月14日(月) 木城中学校学校公開週間 ～21日

● 高齢者・女性対象事業

- 5月 下旬 木城町中央婦人学級(交流センター)
- 6月22日(金) 福寿大学中央学級・石河内学級

行事などについては、総合交流センター 教育課 までお問い合わせください。

【電話:32-2369】

「教科書の歴史から見た木城町」7 アカホヤ火山灰について

今回は、予定を変更し、縄文時代に噴火した火山灰の話をしたいと思っています。昨年の三月十一日に発生した東日本大震災から一年が経過しました。現在も発見されていない多くの行方不明者や、仮設住宅において生活する被災者がいる状況であります。あの大震災からの復興は、被災者だけの問題でなく、日本全体で共有していく大きな課題であることは言うまでもありません。

歴史を振り返ると、今回の大震災のみならず、いつの時代もこの自然災害の問題と向き合っており、人間は力強く生き抜いてきました。そこで今回は、縄文時代のアカホヤ火山灰の話をしたいと思っています。

このアカホヤ火山灰は、今から約七三〇〇年前の縄文時代に薩摩半島の南方の海中にある鬼界カルデラから噴出した火山噴出物であり、研究者の間ではこの時代の噴火では最大規模のものであったと言われています。

この火山灰には、特徴的な淡い褐色の平板状の火山ガラスが含まれており、発掘調査においては、宮崎県を含む南九州では当然地層として厚く堆積されていることが多く確認されます。そして最も遠い場所は、東北地方でも見られることがあり、恐らく噴火した時に偏西風で到達したものだと思われます。そして、最近では日本の縄文時代に該当する韓国の済州島の遺跡の土層からも見つかっており、その広がった範囲からして、当時の噴火の凄まじさを理解することが出来ます。南九州では、鹿児島県と宮崎県の県境に霧島火山があり、二〇を越える火山で構成されており、昨年も噴火をし、火山灰の堆積の状況は記憶に新しいところでもあります。

七三〇〇年前にこのアカホヤ火山灰が噴出したことにより、二次災害として地震や津波なども発生したことが考えられますが、これらについては、今後の発掘調査などにおいて具体的に知ることが出来ると思います。

発掘調査の基本は、地面を掘り下げる時に地層の変化を的確に知ることです。南九州における地層では、このアカホヤ火山灰の堆積が見られることが多く、この堆積層より下の層は縄文時代の古い時期、もしくはそれ以前の旧

石器時代、上の層は縄文時代の後の時期、もしくはそれ以降の弥生時代以後の時代と時期を知る鍵を握る地層となります。その層から見つかる土器や遺物、生活跡などにより、当時の生活の姿を考古学的な目線でリアルに知ることが出来ます。

いずれにせよこのアカホヤ火山灰の噴火により、森林植生の破壊などがあり、当時の縄文時代の人々の生活に多大な影響を与えたことが考えられます。自然に寄り添い、気候の変化に応じて来た彼らにとって、この予期せぬ大災害は大きなダメージとなり、多大な犠牲者も出たことと予想されます。しかし、その

後の自然環境の回復と生きる力を備えた縄文時代の人々のバイタリティにより、再び縄文文化は栄えることとなります。このことは、県内の発掘調査の事例を見ても確かなことであります。縄文時代の人々の生きた証は明日の日本の復興の責務を担う我々現代人にとつての大きなヒントになるような気がしてなりません。歴史を知って未来を見通すことが私達の大事な観点になることでしょう。(教育課 白岩 修)



(参考文献)

「宮崎県史 通史編 原始・古代1」一九九八年

「アカホヤ火山灰に関する研究の成果と課題」

水ノ江和同「南九州縄文通信」No.8 一九九四年

「アカホヤ噴火時の火山災害の諸相」成尾英仁

「南九州縄文通信」No.13 一九九九年

「火山灰と南九州の縄文文化」

新東晃一「南九州縄文研究」第1集 一九九三年

4月21日(土)～6月3日(日)

11ぴきのねこ

馬場のぼる絵本原画展

料金:大人500円・小中高生300円

木城えほんの郷は、新緑の美しいこの季節、ゴールデンウィークを中心に、今年も“木城えほんの郷2012”を開催します。そのメイン企画として、漫画のエッセンスを展開して絵本の世界に独自の豊かさを表現した『11ぴきのねこ 馬場のぼる絵本原画展』をお楽しみください。

本展では、不朽の名作となった絵本『11ぴきのねこ』シリーズから、『11ぴきのねこふくろのなか』のリトグラフ、『11ぴきのねこマラソン大会』の大型シート、『11ぴきのねこ』完成後の水彩画や『アリババと40人の盗賊』の原画、漫画からは『ころっけライオン』『プウタン』などを展示いたします。緑さわやかな光あふれる初夏の一日。どうぞ、木城えほんの郷へお出かけください。



木城えほんの郷2012 (4/29～5/6)

絵本の展示

「たのしい絵本を手にとって!」

オープニングセレモニー

木城えほんの郷2012年のオープニングセレモニー
子どもたちとみんなでテープカット

随時

村長のギャラリートーク

4/29

講演会 佐藤英和さん

「馬場のぼるの絵本の魅力」

馬場のぼると二人三脚で創り出した『11ぴきのねこ』制作秘話や漫画家・絵本作家 馬場のぼるの魅力を知っていただけます
500円(当日200円増し)

絵本フェア

「こんなにたくさん絵本があるよ」

森のコーヒー屋さん

「手作りのカレー・ケーキ・コーヒーはいかが?」



絵本トーク

①11:00～ ②14:00～

絵本や本のもつ楽しさや醍醐味など、それぞれの絵本トークをお楽しみ下さい。

楽しい絵本の紹介 (4/30)
科学あそびと本の紹介 (5/3)
赤ちゃん絵本 (5/5)

手づくりあそび

自然の中の竹や木が、たのしい笛やたいこに変身する

・竹の笛・竹のタイコ・竹とんぼづくり (5/3～6)

・鳥の巣箱づくり/リポート 江崎さん (4/30)

・科学あそび「くるくるレインボウ」佐藤さん (5/3)

・1コインで作る木のおもちゃ/二輪舎・関屋さん (5/4、5)

・「箱から花へー紙とハサミであそぼう」中武さん (5/5)

5/20

講演会 小沢敦子さん

「学校のいま、子どもたちのあした」

現代社会における学校の位置の変化
子どもにどんな応援ができるのか
500円(当日200円増し)

【町の人口】 (24年4月1日現在) ●人口 5,144人 (先月比-28人) ●男 2,393人 (-16人) ●女 2,751人 (-12人)
【世帯数】 1,932世帯 (先月比-7世帯) 【町面積】 146.02km²
【発行】 木城町役場 〒884-0101 宮崎県児湯郡木城町大字高城1,227-1 TEL.0983-32-4725・FAX.0983-32-3440
【編集】 総務課